

## 1 本校の沿革

昭和 22年 4月	学区改革により神杉・田幸・和田・川西の各中学校が設置される(田幸中学校は現三次製作所の位置にあった)
昭和 24年 4月	神杉・和田・田幸の三中学校を統合し塩町中学校となる
昭和 29年 1月	新校舎落成(現三次製作所)
昭和 44年 4月	塩町中学校川西教場となる
昭和 46年 4月	塩町中学校川西教場を実質統合し、新校舎落成
昭和 57年 11月	県学校保健優良校の表彰を受ける
平成 8年 8月	校舎三階普通教室、廊下の全面改装
平成 16年 11月	公開研究会(教科と連動する「総合的な学習の時間」)
平成 17年 4月	備北教育事務所教育実践研究校指定
平成 17年 11月	公開研究会(教科とリンクした「総合的な学習の時間」)
平成 18年 4月	備北教育事務所教育実践研究校指定
平成 19年 4月	「角屋塾」校内研修会(年5回) ネットワーク化実現(講師:広島大学大学院教育学研究科角屋重樹教授)
平成 19年 12月	新校舎(教科教室型・地域開放型)完成、1月移転
平成 20年 10月	公開研究会(教科の力を生かす力に高める探究型「総合的な学習の時間」の創造)
平成 21年 2月	総合的な学習の時間フェスタ 2009 発表(文部科学省)
平成 21年 2月	広島県教育奨励賞受賞
平成 21年 3月	研究本「これからの学習指導のデザイン」出版
平成 21年 10月	公開研究会(思考力を高める学習指導の改善)
平成 22年 4月	塩町中学校授業研究会(年5回)(講師:広島大学大学院教育学研究科木下博義准教授)
平成 22年 10月	公開研究会(思考力を高める学習指導の改善)
平成 23年 4月	三次市「生き生き学校予算重点校(総合的な学習の時間)」指定
平成 24年 1月	文部科学省表彰(キャリア教育)
平成 25年 1月	第65回鈴木三重吉賞の詩の部・作文の部で学校賞受賞
平成 27年 4月	広島県「学びの変革」パイロット校事業3年指定 三次市教育委員会「小中一貫教育モデル地域」3年指定
平成 30年 6月	上海臨港第一中学と姉妹校提携
令和 元年 11月	広島県中学校理科教育研究大会開催
令和 3年 4月	広島県教育委員会「不登校SSR(スペシャルサポートルーム)推進校」指定
令和 6年 4月	三次市教育委員会「三次市読解力向上事業」2年指定
令和 7年 2月	国土交通大臣表彰(河川教育)

## 2 学校教育目標

**挑戦と貢献** ～主体的に学び、他者と協働して課題を解決していく生徒の育成～

### ☆目指す生徒像

- 自分の夢と志を持ち、知識と経験をもとに自ら行動して貢献できる生徒  
【知識・技能、思考力、主体性】
- 互いの良さを認め、目標達成のために力を合わせて課題を解決する生徒  
【協働性、判断力】
- 自分の意見や考えたことを相手に工夫して伝える生徒  
【表現力】

### ☆目指す学校像

- 「チーム塩町中」として
- 課題解決、目標達成に向けて結束する学校
  - 生徒、教職員が互いに切磋琢磨する学校
  - 保護者、地域関係者と連携し生徒を指導・支援する学校

### ☆学校経営理念

ミッション [自校の使命、存在意義]  
『三次市東部地区の中心校として、生徒の進路実現を図り、地域の発展に貢献する』(コミュニティとつながる本質的な学びを通して)

ビジョン [自校の将来像、在りたい姿]  
『生徒、保護者、地域、教職員が誇り、「学んでみたい、学ばせたい、働きたい」と思われる学校』

## 3 重点的な取組事項

- ① 生徒理解を深めるとともに、生徒指導規程に基づく一貫した指導による、安全・安心な学校体制の確立(挨拶、言葉遣い、清掃、身だしなみ、時間励行の徹底)
- ② 小中で一貫した系統的な「探究」カリキュラム実施による育成すべき資質・能力の共有と向上
- ③ ICTの有効活用等、具体的な授業改善と個に応じた家庭学習等の積み上げによる語彙、読解力、数的感覚等、学力の基礎の確実な習得(RST等分析結果による)
- ④ 未知の世界に挑戦し、試行錯誤する中で、自己に対する自信醸成のための実体験重視(人間としての強み、新たな価値創造等)
- ⑤ 当事者意識を持った多様な他者と関わりながら、社会の中で活躍できる力を学んでいるという実感

## 4 在籍生徒数

( )…特別支援学級生徒 ※外数 令和8年4月7日現在

学年	学級	生徒数		
		男	女	計
1年	A	12	15	27
	B	11(2)	14	25(2)
2年	A	16(2)	15(1)	31(3)
	B	17(2)	13(2)	30(4)
3年	A	14(1)	19	33(1)
	B	15	19	34
特別支援学級(知的)		4	2	6
特別支援学級(情緒)		3	1	4
合計		85	95	190

## 5 学校自己評価表

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	成果指標	目標値
確かな学力の育成	主体的な学びの創造による学力の向上	基礎・基本の学力の確実な定着	・学習評価の充実による学びの質的向上 ・教科等横断的な単元開発による授業改善の充実	国・市の学力調査の平均正答率 教科の学習・授業が「よくわかる」という意識を持つ生徒の割合	国、市の平均値以上 全学年・全教科80%以上
		育成すべき資質・能力の向上	・達成された姿の明確化 ・行事の充実と地域/先端体験	自校の質問紙 総合質問紙調査(表現力、協働性、主体性)	肯定的評価80%以上 母集団平均以上
豊かな心の育成	生徒の規範意識の醸成と望ましい集団づくりの推進	生徒指導上の諸課題の解決	・個別最適化対応を見据えた積極的生徒指導の推進 ・生徒が安心して過ごすことのできる環境整備 ・関係機関との積極的な連携	年間30日以上欠席がある生徒	1年:前年度比減 2,3年:新たな長期欠席者0
		生徒の自治活動の充実	・生徒会の提案による課題解決の取組 ・学校行事、地域行事への生徒の積極的参画の支援	自己肯定感・自己有用感に肯定的意識をもつ生徒の割合	全学年80%以上
健やかな体の育成	生活習慣の改善と体力の向上	基本的な生活習慣の確立	・生活調査の実施 ・小中一貫保健主事部会と連動した授業の実施	SNS、ゲーム等時間3時間未満及び家庭学習の時間が60分以上の生徒の割合	前年度比増加
		基礎体力の向上	・体育の授業での体づくり運動 ・体力テスト等の結果分析と課題の焦点・重点化	体力・運動能力調査の結果	昨年度全国平均を下回っていた種目のうち、昨年度の結果を上回る種目70%以上
信頼される学校づくり	成果の発信、服務管理による学校信頼度の向上	教育成果の発信	・各種通信やHPによる数機能的発信 ・授業、行事による学校公開の実施	「子供を学校に通わせてよかった」と思う保護者の割合	全体90%以上
		業務効率化の推進	・各分掌による提案による校務運営 ・在校時間縮減のための業務の効率化	不祥事、職員のメンタル不調の発生数	年間0件

## 6 年間指導計画

月	行事予定
4	就任式・始業式 入学式 新入生オリエンテーション 実力テスト 交通安全教室 全国学力・学習状況調査(3学年) 身体測定 教育相談日(希望者) 部活動集会 定期健康診断(～6月)
5	授業参観・PTA総会 生徒総会 進路説明会(3学年) 中間試験 PTA環境整備作業 県選手権大会予選(～6月) 避難訓練(土砂災害)
6	体育祭 インターネット教室 三次市学力到達度検査(2学年) 実力テスト(3学年) マナー教室(2学年) 期末試験
7	職場体験活動(2学年) 地区懇談会 授業参観(1、3学年) 修学旅行説明会(2学年) 平和集会、防犯教室、終業式 三者懇談 県選手権大会
8	PTA環境整備作業 始業式 実力テスト(3学年)
9	救急救命講習(2学年) 修学旅行(2学年) 塩町フェスタ(3学年)
10	中間試験 PTA環境整備作業 部活動新人戦(～1月) 文化祭 実力テスト 来年度入学者対象学校見学・説明会
11	避難訓練(地震) 期末試験 授業参観(1、2年) 進路説明会(3学年) 避難訓練(火災)
12	三者懇談 生徒会役員選挙 立志式(3学年) 終業式
1	始業式 実力テスト(3学年) 学年末試験(3学年) 国・私立高校入試
2	入学説明会 授業参観(1・2学年) 国・私立高校入試 学年末試験(1、2学年) PTA支部総会 公立高校入試一次選抜
3	卒業証書授与式 公立高校入試二次選抜 修了式・離任式

## 7 卒業生の進路先

令和7年度卒業生

進路先	人数	進路先	人数
広島県立三次高等学校	9	国立松江工業高等専門学校	1
広島県立日彰館高等学校	3	広島新庄高等学校	2
広島県立三次青陵高等学校	13	如水館高等学校	1
広島県立庄原格致高等学校	12	広陵高等学校	1
広島県立西城紫水高等学校	3	清水ヶ丘高等学校	1
広島県立世羅高等学校	1	瀬戸内高等学校	1
広島県立西条農業高等学校	1	下関双葉高等学校	1
広島県立加計高等学校芸北分校	1	クラーク国際横浜キャンパス	1
広島県立庄原特別支援学校	1	就職	1

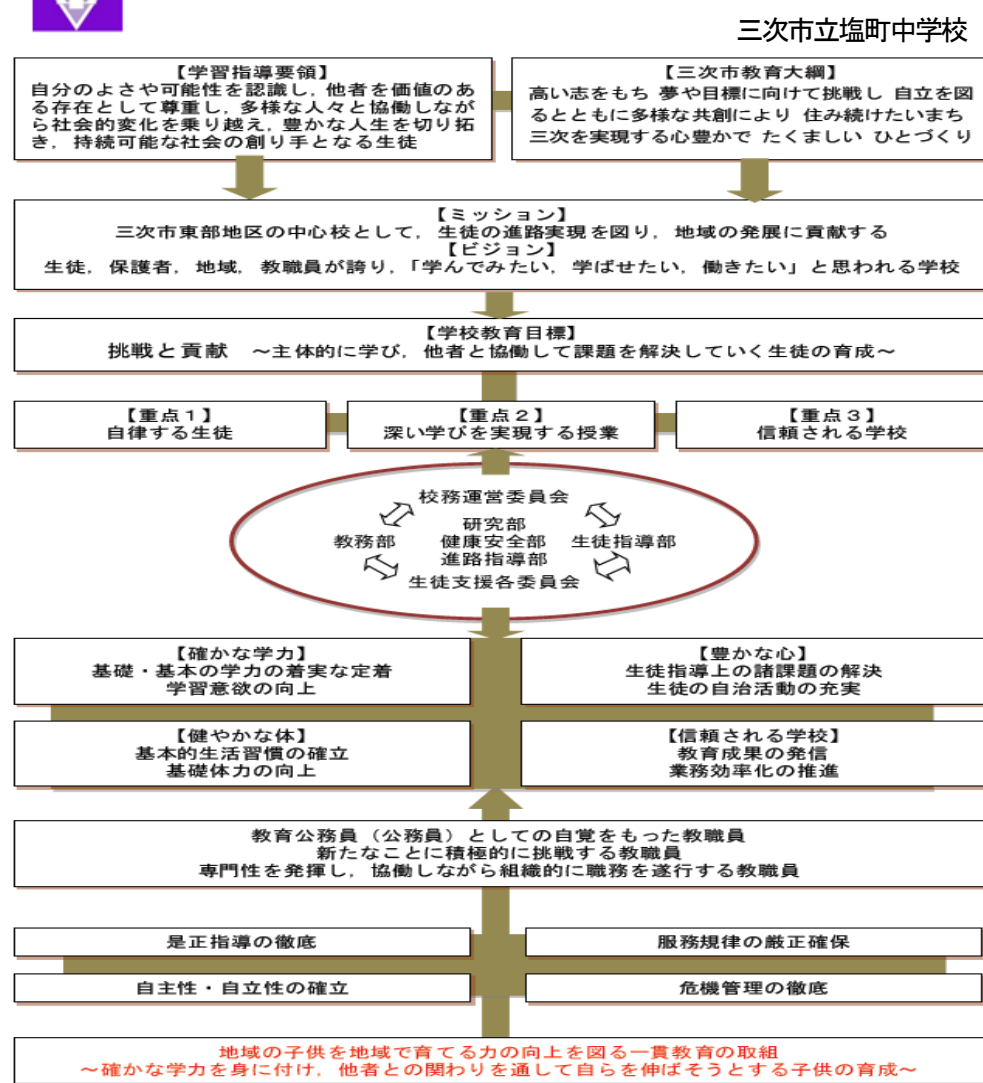
## 8 教職員一覧表

令和8年4月1日現在

職名	氏名	教科	学級担任	主な校務分掌等
校長	池田 誠			
教頭	西森 千博			総務部
(兼)事務長	五反田治子			(三良坂中)
教諭	木下 波音	英語	1 A担任	国際理解教育担当、生徒会担当、サッカー部
教諭	谷原 徹也	保体	1 B担任	1学年主任、道徳教育推進教師、体力づくり推進リーダー、生徒会担当、バスケットボール部(男子)
教諭	門田 崇	国語	1学年所属	教務主任、小中一貫教育担当、卓球部
教諭	山中 悠生	数学	1学年所属	ソフトテニス部
教諭	中倉 采夏	家庭	2 A担任	情報教育担当、吹奏楽部
教諭	春木 祐介	数学	2 B担任	生徒指導主事、2学年主任、バレーボール部
教諭	佐々木 精一	数学	2学年所属	時間割担当、SSR担当教員(教育相談 Co.)、陸上部
教諭	中江 透生	数学	2学年所属	
教諭	三上 祐子	理科	特支(補助)担任 2学年所属	陸上部
教諭	梨木 巖雄	社会	3 A担任	3学年主任、ソフトテニス部
教諭	大高 和恵	英語	3 B担任	進路指導主事、バスケットボール部(女子)
教諭	吾郷 千浩	理科	特支(自備)担任 3学年所属	特別支援教育 Co.、野球部
教諭	光久 智子	国語	3学年所属	研究主任、「学びの革新」推進担当、司書教諭、美術部
養護教諭	松井 都水		1学年所属	保健主事、食育担当、美術部
(兼)教諭	石田 礼	美術		(川地中)
(兼)教諭	美野 愛	技術		(川地中)
(兼)教諭	上田 寛			(十日市中)
講師	岡本 真也	社会		県費授業確保非常勤講師 八次中を兼務
講師 部活動指導員	市川 奈美	音楽		県費授業確保非常勤講師 川地中を兼務
講師	西岡 智鈴	保体		懸費授業確保非常勤講師 八次中を兼務
講師	松原 和雄			教育上特配
主事主任	井上 美咲		総務	
主事(臨)	原田 直美		総務	
市費事務職員	加藤 綾子		総務	
事務職員	青木 由佳		3学年所蔵	
学校支援員	水野真理子		3学年所属	情報関係担当
学校支援員	西村 宣洋		1学年所属	
障害児介助指導員	犬石 国男		2学年所属	
スクールサポート スタッフ	岡崎 祐子			
スクール カウンセラー	寄重 賢太			教育相談
部活動指導員	金子 哲			卓球部
部活動外部指導員	今本 満			バレーボール部
ALT	Baylin Mar	英語		



## 令和8年度 学校経営構想図



**【塩町中学校 体罰、セクシャル・ハラスメント、  
パワー・ハラスメント等相談窓口】**

〒729-6211 三次市大田幸町10541番地2  
**【相談日】** 毎週金曜日(原則)  
**【担当者】** 西森 千博(教頭) 門田 崇(教務主任)  
 松井 都水(保健主事)  
**【電話】** (0824)66-1008  
 ※プライバシーの保護及び秘密の保持を徹底します。  
 ※体罰、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント以外の、他のハラスメントについても相談を受け付けています。

### 校章の由来

本校の校章は、この丘に夏から秋を彩る桔梗と、古代文化の遺跡を象徴して創られました。

生薬歳時記によれば、桔梗の根は、「結実(ひきしまっている)かつ硬直(まっすぐ)である」ことから名の起こりを説明しています。形状は、中央に古代土器と古墳を形取り、この台地が古代文化発祥の地であることを示しています。

また、和田・田幸・神杉・川西の4つの地区を結んだことも象徴しています。背景となる紫紺は青(思想追求)と赤(敢闘情熱)との調和の色です。



令和8年度

# 学校要覧



校訓



# 英明堅健

賢く！ 遅く！  
学べよ 鍛えよ 心と体

塩町中学校 校歌

一 みよし野の 門を明けん  
あすに向かい 今燃ゆ 揺籃の地よ  
われら塩町 塩町中学校

二 植土の 風土記の丘に  
新しい 希い果てなし  
創造に 誠をこめて  
われら塩町 塩町中学校

三 大ゆるなき 捕みとらん  
わが人生の 永遠の行手を  
われら塩町 塩町中学校

作詞 藤井美典  
作曲 井上一清

## 三次市立塩町中学校

〒729-6211 広島県三次市大田幸町10541番地2  
 TEL 0824-66-1008 FAX 0824-65-3102  
 E-MAIL アドレス (shiomachi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp)  
 HP アドレス (http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/shiomachi-j/)